



「先生の研究テーマを教えてくださいだけませんか。」

企業戦略・金融へのアプローチが研究テーマです。理論と実践のバランスを重視するMBA（経営大学院）の企業戦略プログラムをモデルにしています。経営戦略、マーケティング、金融などの理論を企業の活動を理解する切り口とします。理論を学んでも、社会では役に立つの、とよく言われますが、この世の上の複雑な社会的現象を考えると理論を学ぶ必要があります。ただ、これらを暗記するだけでは付加

いつかはわかる時が来る。

価値は生まれません。理論や概念が成り立つ前提を理解し、実際の事例に応用する力をつける必要がとても大事です。

「長年の企業経験から、現在、企業はどんな学生（人材）を求めているのでしょうか。」

20年企業に勤めた私の経験から言えば、ズバリ「理系の情報スキルを持ち、経済・経営の仕組みが理解でき、且つ、組織でうまくやっていく文系人材」です。まさしく、社会情報学科はドン・ピシャです（笑）。

大学に来て驚いたのは、学生

- 《担当講義》
- 金融システム
 - ファイナンス
 - 経営戦略
 - ビジネス実務総論 ほか

- 《研究テーマ》
- 金融、企業戦略に関する研究

《プロフィール》

- 出身地:はかた
- 血液型:AB型
- 性格:頑固
- 趣味:読書
- 座右の銘:高倉健

《主な履歴》

- 最終学:阪大
- 博士号:広大
- 銀行勤務を経て、2008年より理大社情へ

は、仕事は個人のスキルであるもの、個人の能力が大切である、と考えていることです。自営業でも一人で仕事なんてできません。仕事は、組織でするもので、協働による作業です。ですので、個人の能力ももちろん大切ですが、組織への対応力もとても大事です。採用の際も、この学生は、組織に対応できるかな、一緒に仕事をして楽しいかな、と単純に考えています。ですので、ゼミなり、サークルなりでしっかりと組織対応力と世の中の動きに敏感な体質を身につけ、さらに現代社会

で不可欠な情報スキルをこの学科で身につけて大きく羽ばたいてほしいですね。

「ゼミではどのような指導をされていますか。」

山口ゼミは、別名、礼儀作法ゼミと呼ばれているらしいです（笑）。研究も大事ですが、目を見て挨拶をする、感謝をする、という人間として基本的な行為が出来ないことには、話になりません。どんなに嫌われようが、これらの行為が自然にできるようになる、ゼミや合宿、飲み会を通して徹底的に鍛えてい

ます。そして、これらができてから、本格的な研究指導です（笑）。「趣味は何ですか。また、学生に、何かアドバイスをお願いします。熱狂的なソフトバンクホークスのファンです。念願の日本一になりましたので、ホークス時代の到来です。あと10年は続くでしょうね（笑）。

アドバイスとしては、ある経営者から教えて頂いた言葉、**「生懸命だと知恵が出る、中途半端だと愚痴が出る、いいかげんだと言いつばはかり」**を贈ります。現実の社会は、まさにこの言葉通りです。全ては自分の気持ちの持ち方次第です。

現在、大変な就職困難期を迎えています。人と違う何かを持つていないと、なかなか競争を勝ち抜くことは難しくなっています。是非、1年次から、人と違う何かをアピールできるような過ごしてください。海外への留学やホームステイがお勧めです。英語を覚えるだけではなく、島国ラポンを外から眺めるのも、素晴らしい人生経験になります。自分からチャレンジすれば、必ず、その結果がついてきます。自分を変えてみましょう。

岡山市は、気候も温暖で、食べ物も美味しく、とても住みやすい街です。学ぶには最適な場所です。一緒に頑張りましょう！

男・山口隆久に惚れます。ただし取り扱いを間違わなければ…の話。

私たちの恩師・山口隆久の取り扱い方法を説明します。直球本でガツリ上から目線で突っ込んできますので充分な注意が必要です。話は野球用語を使っているので、学生もある程度、野球の知識は必要です。次に、全て直球本ですので、それを交わそうとすると、余計ややこしくなり面倒な事になります。一旦、学生が受け止めてから、冷静に対処法を考える必要があります。山口隆久がうぶり四つに組む相撲は危険です、相手が悪すぎます。最後に飲み会の対処法ですが、偶然と言え、横に座つたら今日は残念な日だったので、勝手に飲まされ、飲み会が潰れるかの勝ち負けになります。お酒は勝ち負けではなく楽しんでください。以上山口ゼミ博士課程「三好純矢」のレポートでした。